

令和6年度 湖陵小学校 学校経営方針

1 学校教育目標

よく考え やさしく つよい 湖陵の子ども の育成

<めざす子ども像>

よく考え とは・・・学ぶ姿勢があり、よく考え、表現できる子ども
やさしく とは・・・思いやりがあり、力を合わせる子ども
つよい とは・・・心身ともにたくましい子ども
湖陵の子どもとは・・・ふるさとを愛し、未来に希望をもつ子ども

<めざす学校像>

- 安心・安全な学校…児童も職員も安心感をもって生活できる学校、また危機管理を徹底するとともに安全に係る意識を高め、安全な学校づくりをめざす
- 挑戦できる学校……教育課程の工夫や授業改善に努め、児童も職員も失敗を恐れず、何事にも挑戦できる学校づくりをめざす
- 共に高め合う学校…児童も職員も他者との協働やよいかかわりを通して、お互いに高め合う学校づくりをめざす

<合言葉> 【 自分も大切 みんなも大切 笑顔いっぱい湖陵小 】

<めざす職員像>

豊かな人間性を持ち、教育愛にあふれる職員
使命感をもって自分を磨き続け、協働する職員
児童に育てたい人権意識やふるまいを、自分にも求める職員

2 学校経営の基本理念

- (1)全ての教育活動の基底に人権・同和教育を据え、一人一人を大切にした教育を推進する。
- (2)「主体的・対話的で、深い学び」を意識した授業で、学ぶ力と学力を伸ばす。
- (3)心の教育・ふるまい教育を重視し、人間性と社会性の豊かな子どもを育成する。
- (4)地域を生かした教育で、地域への肯定感を高め、ふるさとを愛する心を育てる。
- (5)家庭・地域・学校関係者と誠意をもって連携し、「信頼される学校」をめざす。

3 学校経営の重点

「よく考え」 ～学ぶ姿勢、確かな学力～

★学習に向かう姿勢を重視しながら、学ぶ力と学力を高めていく。

- ①学習の準備の重視 姿勢重視(グー・チョキ・パーパー)
- ②より主体的でより上質な授業にするための授業改善
- ③学ぶ力と学力の向上につなげる授業研究(校内研究で子どもを伸ばす)
- ④学習進度の重視 ・じっくりと思考力・対話力を伸ばす授業
・基礎基本定着の授業のメリハリをつけて
- ⑤一人一人の特性・能力に配慮した特別支援教育の推進
- ⑥家庭学習の習慣づくり
- ⑦校内の言語環境の重視(言葉づかい、校内放送の言葉、等)

「やさしく」 ～温かい心、豊かな心～

★思いやりの心・感動する心・ふるまいを重視し、豊かな人間性を育てていく。

- ①人権・同和教育の推進、道徳教育の充実
一人一人に心の居場所・自己有用感・楽しさのある学級づくり
だんだんタイム(だんだんよくなる・だんだんつながる・だんだん自分が好きになる)の活用
- ②心の教育、ふるまい教育を様々な場面で意識
- ③心を豊かにするための図書館教育、音楽教育、環境教育の充実
- ④わかり合い認め合う心と態度をもつ子どもを育てる特別支援教育の推進

「つよい」 ～心も体もたくましく～

★健康、安全への意識と実践力を高め、心も体も「つよく」していく。

- ①健康づくり、体力づくり、体幹づくり、健康教育、清掃活動、奉仕活動
 - ・基本的な生活習慣づくり（家庭とも連携し、児童の自己管理能力を育成）
 - ・体育科授業の充実（体育授業で運動好きに、体育授業で体力向上）
 - ・課外活動による気力・体力の向上（朝活動・業間・昼休み、陸上練習、等）
 - ・保健指導、安全指導の充実（養護教諭、保健主事、生徒指導、担当、担任等による連携）
- ②食育、性に関する指導
 - ・毎日の給食の重視（感謝、食事に相応しい雰囲気、偏食・小食の改善）
 - ・学校と家庭との連携による食育、性に関する指導の計画的・系統的な推進
 - ・学校保健委員会の取組（PTA活動との連携）
- ③心のたくましさを育てる
 - ・授業(学習)に取り組もうとする前向きな心、勇気を出して挙手して聞こえる声で発言
 - ・「早ね、早おき、朝ごはん」など生活習慣向上(がまんする心、克己心)
 - ・責任を果たす経験(当番活動、掃除、等)
 - ・行事に向けた練習や体育的活動等で向上心を育成

「湖陵の子ども」 ～ふるさとを愛し、未来に希望をもって～

★地域を生かした教育で、ふるさとを愛する心や自己肯定感を高めていく。

- ①地域への肯定感・所属感を高めるふるさと教育の推進
 - ・地域の人・自然・文化・産業と豊かに関わる活動を重視し、肯定感を高めていく
- ②「愛校心」の醸成(ふるさとを愛する心のベースになるもの)
 - ・児童会活動・行事等で、「湖陵小の子」としての誇りを高めていく
→愛校心→ふるさと愛→自尊感情
「湖陵小をますますよくする児童会活動」

<以下のことも重視します>

(1)積極的生徒指導を大切にした学校に

★自己実現のための積極的生徒指導を推進する。

- ①アンテナを高くした深い児童理解(積極的な児童観察、教育相談、子どもについて語り合う雰囲気)
 - ⑦「ふるまい向上」への取組(生徒指導で、児童会で、学級・学年で、日々の授業で、家庭教育で)
湖陵小のあたりまえ・・・「立腰」「あいさつ」「返事」「くつそろえ」・・・森 信三
- ①人とかかわる力の育成(「だんだんタイム」、ふるさと教育、児童会活動、学級経営)
- ②「いじめ防止基本方針」に基づく人間関係づくり・早期発見・真剣な対応
- ③組織的な対応(報・連・相の徹底、校内組織の活用、専門機関・関係機関との連携)

(2)安心・安全な学校、環境のよい学校に

★安全な学校・きれいな学校づくりに努める。

- ①安全・防犯への油断なき取組
- ②設備・備品の整備と教育効果を高めるための積極的な活用
- ③整理整頓され、温かみのある環境づくり

(3)開かれた学校、親しみやすい学校に

★声を聞き、積極的に発信し、適切に連携する。

- ①学校応援団体(地域学校運営理事会、教育振興会、見守り隊、等)との連携
- ②PTA(保護者や家庭)と心を合わせ、学校教育・家庭教育の両輪で健全育成
- ③保幼小中の連続性のある連携(2園、1小学校、1中学校である湖陵の強みとして)
- ④コミセン、児童クラブ、民生児童委員、地域の方々との連携

(4)温かさや使命感にあふれた職員に

★児童に育てたいことを、自分にも求めながら。

- ①学校教育目標・経営方針を全職員が意識
- ②児童に育てたい人権意識やふるまいは、自らも実践(接遇、挨拶、温かい声かけ、勤労意欲)
- ③専門性や人間性を高める研修(プロ意識をもち自分を磨き続ける)
- ④自分や同僚のメンタルヘルスを意識(温かい声かけ、協働、働き方改革)